



第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会 第3回総会

日時：令和7年12月18日(木)

次 第

○ 報告事項

令和7年度事業計画及び収支予算

○ 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算（案）

第2号議案 令和7年度事業報告及び収支決算（案）

第3号議案 実行委員会の解散、残余財産の処分及び会則の廃止（案）

令和6年4月23日に開催された第2回総会において常任委員会に委任された「令和7年度事業計画及び収支予算」について、令和7年3月28日に開催された第2回常任委員会において審議・決定しましたので、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会会則第10条第5項の規定により報告します。

令和7年度 事業計画

1 会議の開催等（総務関係）

（1）総会の開催

- ・実行委員会第3回総会を開催する。

2 フェアの開催等（事業関係）

（1）広報宣伝の実施

（ア）各種広報媒体を活用した広報展開

- ・公式WebサイトやSNSを通じた継続的な情報発信、新聞や地域情報誌等のメディアの活用、電車やサービスエリア等への交通広告など、各種広報媒体を活用し、幅広い世代に向けてフェアの情報を発信する。

（イ）キャンペーン活動による広報展開

- ・広報キャラバンや県内外イベントへの出展等により、フェア開催の認知度を向上させ、来場促進を図る。

（2）行催事等の開催

（ア）開・閉会式の開催

- ・ぎふワールド・ローズガーデン「雅ホール」において、開会式（4月23日（水））及び閉会式（6月15日（日））を開催する。

（イ）会場別催事の開催

- ・7会場において、開催の方針や各会場のテーマに沿った催事を円滑に開催する。

（ウ）出展プログラムの実施

- ・全国の関係機関・団体から出展された花壇や庭園の展示（一部コンテスト）を実施する。

（エ）植物の調達・管理

- ・指定管理者や関係者との連携のもと、フェア期間中、来場者が花を楽しめるよう必要な植物の調達及び適切な管理を行う。

（オ）会場の運営

- ・指定管理者や関係者との連携のもと、誰もが快適で安全に参加できるような会場運営を行う。

(3) 県民参加型の協働推進事業の展開

(ア) 花・みどりの活動の機運醸成

- ・フェア期間中も県民参加による花壇づくりを行うなど、花・みどりの活動の楽しさを体験できる機会を設け、継続的な活動の機運を醸成する。

(イ) グリーンコミュニティの形成支援

- ・フェアを契機に設けた、花・みどりの活動に関わる人と情報の交流を促すプラットフォーム（ぎふグリーン・ライフパートナーズ）の充実を図り、県下全域への活動の普及に繋げる。

(4) 公式記録の作成

- ・フェアの記録写真や事業ごとの実施状況等をまとめた公式記録を作成し、関係機関に配布する。

令和7年度 収支予算

<収支予算>

○ 収入の部

(単位：千円)

区分	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	比較	摘要
負担金	705,705	158,738	546,967	岐阜県負担金
	25,000	0	25,000	出展自治体負担金
合 計	730,705	158,738	571,967	

○ 支出の部

(単位：千円)

区分	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	比較	摘要
総務費	1,035	1,035	0	総会開催、事務局運営等
事業費	729,670	157,703	571,967	広報宣伝、行催事等開催、 協働推進事業展開
合 計	730,705	158,738	571,967	

令和6年度 事業報告（案）

1 会議の開催等（総務関係）

（1）総会の開催

- ・フェアの開催準備や機運の醸成を図るため、実行委員会第2回総会を開催した。

【第2回総会】

- 開催日 令和6年4月23日（火）
- 場所 岐阜県庁20階 2001-2004 会議室
- 報告事項
 - ・第42回全国都市緑化ぎふフェア実施計画
 - ・令和6年度事業計画及び予算
- 議 事
 - ・令和5年度事業報告及び収支決算（案）
 - ・総会から常任委員会への委任事項（案）

（2）常任委員会の開催

- ・総会からの委任事項を審議・決定するため、第2回常任委員会を開催した。

【第2回常任委員会】

- 開催日 令和7年3月28日（金）
- 場所 岐阜県庁20階 2001-2002 会議室
- 議 事
 - ・令和6年度事業報告及び収支決算見込み（案）
 - ・令和7年度事業計画及び収支予算（案）

（3）企画委員会の開催

- ・実施事業の企画・検討等を行うため、企画委員会を開催した。

【第3回企画委員会】

- 開催日 令和6年8月26日（月）
- 場所 岐阜県庁6階 特別会議室
- 議 事
 - ・第42回全国都市緑化ぎふフェア開催に向けた取組状況について

（4）協賛金等の募集

- ・企業や団体等からの協賛制度を創設し、募集を行った。

（募集期間：令和6年5月30日～12月27日）

【協賛状況】

○資金協賛	5社	1,400,000円
○物品協賛	5社	4,784,800円
○広告協賛	2社	3,968,800円
合計	12社	10,153,600円

2 フェア開催に向けた準備（事業関係）

（１）広報宣伝の実施

（ア）広報啓発物品の作成

- ・ 広報啓発物品を作成し、様々なイベントにおいて周知・広報することで、フェア開催の認知度向上や来場促進を図った。

【取組状況】

- ・ ポスター、チラシ、リーフレット、ガイドブックの配布・配架（県内市町村、関係機関等）
- ・ のぼり旗、横断幕の設置（各公園、県内公共施設等）
- ・ カウントダウンボードの設置（300 日前(令和 6 年 6 月 27 日)～／各公園）
- ・ 各種ノベルティの制作

（イ）広報キャラバンの展開

- ・ 県内外に幅広くフェア開催を周知するため、大型イベント等においてキャラバン活動を展開した。

【取組状況】

県内 4 7 回：ぎふ清流ハーフマラソン、国民文化祭・ねんりんピック関連イベント、県農業フェスティバル、県営都市公園イベント等
県外 1 3 回：浜名湖花博 2 0 2 4，都市緑化キャンペーン（東京）、
全国都市緑化かわさきフェア、愛知・岐阜観光 P R 展（刈谷）等

（ウ）メディアを活用した広報

- ・ 各種メディアを活用し、県内外の幅広い世代に向けて情報発信を行った。

【取組状況】

- ・ 公式ホームページ、Instagram、X、YouTube による情報発信
※フォロワー数 Instagram 3,513 人、X 180 人（令和 7 年 3 月末現在）
- ・ P R 動画の制作
- ・ 新聞、地域情報誌、業界の会報誌、市町村広報等への掲載
中日新聞（令和 7 年 3 月 5 日, 24 日）、岐阜新聞（令和 7 年 1 月 1 日, 3 月 5 日, 24 日）、ミナモト通信（3 月号）、東海・関西ウォーカー(2025 春号)、フリーペーパー道の駅(2025 春号)等
- ・ テレビ放映
ぎふ県政ほっとライン（令和 7 年 2 月 6 日, 3 月 20 日）

(2) 行催事等の開催準備

(ア) 開・閉会式の開催準備

- ・オープニングアトラクションなどの具体的な式典内容について検討を行うなど、開催に向けた準備を行った。

(イ) 会場別催事の開催準備

- ・開催の方針や各会場のテーマに沿った催事が展開できるようプログラム内容の企画立案や関係団体との調整を行った。
- ・県民等を対象に、フェア期間中に各公園で実施する「公園の新たな活用に繋がる企画」の募集を行った。

(募集期間：令和6年7月29日～12月27日 応募数：13件)

(ウ) 出展プログラムの準備

- ・庭園やハンギングバスケットなどの出展参加者の募集を行ったほか、コンテストの実施に向けた調整を行った。

【出展予定】

- ・自治体参加による花壇出展（14自治体）
- ・企業・団体等による庭園出展（40作品）
- ・学校花壇等の出展（小中学校等3作品、高校1作品）
- ・全国造園デザインコンクール優秀作品の展示（1作品）
- ・県内市町村コンテナガーデン出展（42作品）
- ・一般公募によるハンギングバスケット等の出展（97作品）

(エ) 植物の調達

- ・県内の生産者団体、流通業者、農業関係団体からなる「植物調達協議会」を通じた植物の調達を行い、フェア開幕に向けて、順次、植え付けを行った。

(オ) 会場運営の準備

- ・公園ごとに運営・交通輸送に関するマニュアルを策定し、誰もが快適で安全に参加できるような会場運営の準備を行った。

(3) 県民参加型の協働推進事業の展開

(ア) 花・みどりの活動の機運醸成

- ・県民や県内の団体等と連携した会場づくりや、SNSを用いた、ぎふの花・みどりの魅力の発信を通して、花・みどりの活動の機運を醸成した。

【取組状況】

○誰もが楽しく参加できる会場づくり

- ・みんなでつくる大花壇（ぎふワールド・ローズガーデン）
- ・エコプランターを使った花壇づくり（ぎふワールド・ローズガーデン）
- ・伐採木を活用したベンチづくり（ぎふ清流里山公園・岐阜県百年公園）
- ・ひょうたんアート・竹灯籠の制作（養老公園）
- ・孟宗竹を利用した花壇づくり（世界淡水魚園）
- ・林の遊具づくり（岐阜県百年公園）
- ・たねダンゴを使った花壇づくり（ぎふ清流里山公園・各務原公園）
- ・芝生アートのデザイン作成（各務原公園）
- ・飛騨の花もちづくり（飛騨会場）
- ・おもてなし花壇づくり（県下全域）

○「ぎふの花・みどり」魅力発信プロジェクト

- ・インスタグラムを活用した「#わたしのグリーンライフ」フォトキャンペーンを実施

（令和6年8月9日～令和7年3月31日 令和7年3月末現在 投稿数1,095件）

（イ）グリーンコミュニティの形成支援

- ・花・みどりの活動を、県下全域に広げるためのプラットフォーム（ぎふグリーン・ライフパートナーズ）づくりや、活動の推進役となる人材の育成を行った。

【取組状況】

○ぎふグリーン・ライフパートナーの募集

- ・花・みどりの普及に賛同する県民や団体を募集・登録し、花・みどりに関わる活動や講座等の情報を随時提供（令和7年3月末現在 498人）

○ぎふグリーン・ライフ推進員の育成

- ・花・みどりの活動をリードする人材を育成する講座を開催し、「ぎふグリーン・ライフ推進員」として登録（令和7年3月末現在 70人）

令和6年度 収支決算（案）

収入決算額	141,445,976 円
支出決算額	135,228,175 円
差 額	6,217,801 円

○ 収入の部

（単位：円）

区分	予算額(A)	決算額(B)	比較(B-A)	摘要
負担金	158,738,000	140,019,000	△18,719,000	岐阜県負担金
協賛金	0	1,400,000	1,400,000	
その他	0	26,976	26,976	預金利息
合 計	158,738,000	141,445,976	△17,292,024	

○ 支出の部

（単位：円）

区分	予算額(A)	決算額(B)	比較(B-A)	摘要
総務費	1,035,000	1,024,028	△10,972	・ 実行委員会総会、企画委員会、常任委員会等開催 ・ 事務局運営 等
事業費	157,703,000	134,204,147	△23,498,853	・ 広報宣伝実施 ・ 行催事等開催準備 ・ 県民協働事業展開 等
合 計	158,738,000	135,228,175	△23,509,825	

○ 差額の扱い

差引額 6,217,801 円については、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会負担金交付要綱の規定により岐阜県に返還する。

※令和6年度収支決算に関する監査報告については別添1を参照

監 査 報 告

第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会会則第5条第4項の規定に基づき、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会の収支決算に関する証拠書類及び諸帳簿について監査したところ、その内容は適正であったことを報告します。

令和7年8月15日

岐阜県会計管理者

丸山 淳



令和7年8月27日

岐阜県市長会監事

藤井 浩人



令和7年8月25日

岐阜県町村会副会長

西脇 康世



令和7年8月19日

公益財団法人都市緑化機構事務局長

辻 淳一



第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会
会長 江崎 禎英 様

※会計監査については、上記期日に監事に報告し、承認の上で署名・押印いただいておりますが、個人情報にあたるため活字にて報告させていただきます。なお、原本については、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会事務局にて保管しております。

令和7年度 事業報告（案）

1 会議の開催等（総務関係）

（1）総会の開催

- ・実行委員会第3回総会を書面で開催した。

【第3回総会】

- 報告事項 ・ 令和7年度事業計画及び収支予算
- 議 事 ・ 令和6年度事業報告及び収支決算（案）
・ 令和7年度事業報告及び収支決算（案）
・ 実行委員会の解散、残余財産の処分及び会則の廃止（案）

2 フェアの開催等（事業関係）

（1）広報宣伝の実施

（ア）各種広報媒体を活用した広報展開

- ・公式WebサイトやSNSを通じた継続的な情報発信、新聞や地域情報誌等のメディアの活用、電車やサービスエリア等への交通広告など、各種広報媒体を活用し、幅広い世代に向けてフェアの情報を発信した。

【取組状況】

- ・WEBメディア「アソビュー！」（4月1日～6月16日）
- ・中日新聞、岐阜新聞（4月～6月：計12回）
- ・地域情報誌（岐阜県内全域、愛知県北部：5月号）
- ・交通広告（JR、名古屋市営地下鉄、名古屋鉄道、岐阜バス、東京メトロ、中部国際空港（セントレア）、近隣県主要サービスエリア等：4月～5月）
- ・ぎふ県政ほっとライン（4月10日、5月22日） 等

※フォロワー数 Instagram 5,881人、X 255人（令和7年11月末現在）



(イ) キャンペーン活動による広報展開

- ・フェア開催の認知度を向上させ、来場促進を図るため、県内外イベント等に出展し、キャンペーン活動を展開した。

【取組状況】

県内 17回：道三まつり、花・みどり関連イベント、大型商業施設等

県外 8回：横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2025、花・みどり
関連イベント（愛知県内）等



(2) 行催事等の開催

(ア) 開・閉会式の開催

- ・ぎふワールド・ローズガーデン「プリンセスホール雅」において、開会式及び閉会式を開催した。

【開会式】 4月23日（水）



【閉会式】 6月15日（日）



(イ) 会場別催事の開催

- ・7会場において、開催の方針や各会場のテーマに沿った催事を円滑に開催した。

【会場ごとのイベント数】

主催者	WRG	里山	養老	淡水	百年	各務原	飛騨	計
イベント数	10	14	12	3	21	3	11	74
プログラム数	76	31	28	31	32	12	12	222



ぎふワールド・ローズガーデン りんご歌舞伎花舞台東美濃座



ぎふワールド・ローズガーデン りんごグリーン・ライフフォーラム



ぎふ清流里山公園 ソウルフードマルシェ



養老公園 岐阜の地酒横丁・酒造巡り in 養老



世界淡水魚園 たらい舟船頭体験



岐阜県百年公園 古式日本刀鍛錬実演



各務原公園 熱気球搭乗体験



飛騨会場 ONSEN ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨温泉郷平湯

- ・新たな公園の活用に繋がる企画や来場者が広く参加できる企画を募集し、フェア期間中に実施した（13団体）。
- ・各会場を巡るデジタルスタンプラリーや、高速道路を活用したドライブプラン、鉄道会社と連携したウォーキングイベント等を実施した。

（ウ）出展プログラムの実施

- ・ぎふワールド・ローズガーデンにおいて、全国の関係機関・団体等から出展された花壇や庭園の展示（一部コンテスト）を実施した。

【出展状況】

- ・自治体参加による花壇出展（14自治体）
- ・企業・団体等による庭園出展（40作品）
- ・学校花壇等の出展（小中学校等3作品、高校1作品）
- ・全国造園デザインコンクール優秀作品の展示（1作品）
- ・県内市町村コンテナガーデン出展（42作品）
- ・一般公募によるハンギングバスケット等の出展（97作品）



企業・団体等庭園 ～グリーン・ライフガーデン～



県内市町村コンテナガーデン



GREEN×EXPO 2027 PR 出展



ハンギングバスケット等の出展

(エ) 植物の調達・管理

- ・指定管理者や関係者との連携のもと、フェア期間中、来場者が花を楽しめるよう必要な植物の調達及び適切な管理を行った。

【調達状況】

・調達数

約700品種、約220,000株

・調達時期

①	フェア開幕前植栽	令和7年2月～4月	1年草、多年草
②	フェア開催中のローテーション植栽	令和7年5月	1年草、多年草



(オ) 会場の運営

- ・指定管理者や関係者との連携のもと、誰もが快適で安全に参加できるような会場運営を行った。

【会場運営】

- ・来場者に対するきめ細やかな案内を行うため、各公園に「現地運営本部」を設け、フェア全体を通して必要なサービス水準を確保
- ・緊急時において迅速な対応が可能となるよう、現地運営本部を統括する「フェア運営本部」を設置

【交通輸送】

- ・各公園に「交通輸送本部」を設置し、駐車場管理・シャトルバス運行等を中心に、交通に係る警備・誘導等の統括を行い、安全・安心な交通輸送体制を確保
- ・主な来場手段である自家用車対策として、多客時においては必要に応じて臨時駐車場を確保し、会場へのシャトルバスを運行
- ・一部の公園においては、最寄り駅から会場までを結ぶシャトルバスを、多客時に運行し、公共交通の利用を促進
- ・各公園の駐車場混雑状況をリアルタイムに集約し、ホームページ等で情報発信することにより、円滑な車両誘導を実施

(3) 県民参加型の協働推進事業の展開

(ア) 花・みどりの活動の機運醸成

- ・フェア期間中も県民参加による花壇づくりを行うなど、花・みどりの活動の楽しさを体験できる機会を設け、継続的な活動の機運を醸成した。

【取組状況】

○誰もが楽しく参加できる会場づくり

○「ぎふの花・みどり」魅力発信プロジェクト

- ・Instagramを活用した「#わたしのグリーンライフ」フォトキャンペーンを実施

令和7年4月23日～6月15日 投稿数941件



飛騨会場 飛騨の花もちづくり



世界淡水魚園 孟宗竹を利用した花壇づくり(花植え)



ぎふワールド・ローズガーデン みんなでつくる大花壇第2弾



養老公園 風車のアートガーデン



県内全域 おもてなし花壇



「#わたしのグリーンライフ」フォトキャンペーン作品

(イ) グリーンコミュニティの形成支援

- ・フェアを契機に設けた、花・みどりの活動に関わる人と情報の交流を促すプラットフォーム（ぎふグリーン・ライフパートナーズ）の充実を図り、県下全域への活動の普及に繋げた。

【取組状況】

○ぎふグリーン・ライフパートナーの募集

- ・花・みどりの普及に賛同する県民や団体を募集・登録し、花・みどりに関わる活動や講座等の情報を随時提供（１１月末現在 ５１３人）

○ぎふグリーン・ライフ推進員の育成

- ・花・みどりの活動をリードする人材を育成する講座を開催し、「ぎふグリーン・ライフ推進員」として登録（１１月末現在 ８２人）

(４) 公式記録の作成

- ・フェアの記録写真や事業ごとの実施状況等をまとめた公式記録を作成し、関係機関に配布した（令和７年１１月）。

令和7年度 収支決算（案）

収入決算額	660,932,192 円
支出決算額	660,257,253 円
差 額	674,939 円

○ 収入の部

(単位：円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	比較(B-A)	摘要
負担金	705,705,000	635,564,000	△70,141,000	岐阜県負担金
	25,000,000	25,000,000	0	出展自治体負担金
使用料	0	155,640	155,640	ドライブプラン使用料
その他	0	212,552	212,552	預金利息
合 計	730,705,000	660,932,192	△69,772,808	

○ 支出の部

(単位：円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	比較(B-A)	摘要
総務費	1,035,000	30,635	△1,004,365	事務局運営 等
事業費	729,670,000	660,226,618	△69,443,382	広報宣伝実施、行催事等開催、協働推進事業展開 等
合 計	730,705,000	660,257,253	△70,447,747	

○ 差額の扱い

差引額 674,939 円については、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会負担金交付要綱の規定により岐阜県に返還する。

※令和7年度収支決算に関する監査報告については別添2を参照

監 査 報 告

第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会会則第5条第4項の規定に基づき、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会の令和7年度収支決算に関する証拠書類及び諸帳簿について監査したところ、その内容は適正であったことを報告します。

令和7年12月3日

岐阜県会計管理者

丸山 淳



令和7年12月4日

岐阜県市長会監事

藤井 浩人



令和7年12月3日

岐阜県町村会副会長

西脇 康世



令和7年12月4日

公益財団法人都市緑化機構事務局長

辻 淳一



第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会
会 長 江 崎 禎 英 様

※会計監査については、上記期日に監事に報告し、承認の上で署名・押印いただいておりますが、個人情報にあたるため活字にて報告させていただきます。なお、原本については、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会事務局にて保管しております。

実行委員会の解散、残余財産の処分及び会則の廃止（案）

① 第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会の解散について

本実行委員会は、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会会則（以下「会則」という。）第2条の目的を達成したことから、第18条に基づき解散する。

② 残余財産の処分について

解散時点において、実行委員会が有する残余財産については、会則第19条に基づき処分することとし、岐阜県都市建築部都市公園・交通局都市公園課に引き継ぐものとする。

③ 会則の廃止について

上記①による実行委員会の解散した日をもって会則を廃止する。